

令和4年度学校関係者評価実施状況計画書

幼稚園名：国立ふたば幼稚園

1 自己評価の実施の有無

有 / 無

2 本園の教育目標

- ・ 集団生活の中で園児が自立の精神を養うことができる
- ・ 他者を思いやることができる
- ・ 園児一人一人の個性を尊重し豊かな人間形成を育むことができる
- ・ 年間行事を通して園児に「非日常」を体験してもらい、多くの引き出しを作ることができる

3 本年度重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルスの影響はあるものの、徐々に通常保育・学園行事等の内容を取り戻し、園児一人一人の自立心を養い、豊かな人間形成を育む。

4 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育水準向上のために外部講師の指導を取り入れ、従来の保育実践を見直し改善を図る。	A	週に1度外部講師を招き「リトミック教育」を各学年クラスにて実施。ボールや楽器など新たな教材を用いて楽しく音楽に触れながらリズム感覚を身に着けられるよう授業を展開。「ただ頑張って大きな声で歌う」のではなく、具体的な発声方法や音程の取り方を実践。従来の保育実践を見直し外部講師の指導を経て、より楽しく音楽にふれることができている。
2	教育水準向上のために、楽器を新調し保育実践の環境の改善を図る。	A	「リトミック教育」を実施すること、運動会の行進や劇の練習にて必要な楽器を新調。保育実践にて楽しく音楽にふれる環境を整えたことで、自発的に音楽にふれる園児が多くなったことから、当園の音楽に関する環境を見直し改善する契機となっている。

評価(A:十分に成長があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果があった)

5 総合的な評価結果

評価	理由
A	当園の年間行事は「音楽表現」に注力する行事も多くある。日々の保育実践を見直し「音楽表現」について重点的に取り組んだ結果、外部講師も含む関わりにより、教職員も刺激を受けるだけでなく、従来の音楽環境についても見直すことができた。外部講師との連携を継続し、年間行事での課題曲についても指導を行うことで、今後の教育水準の向上に繋がると考える。

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	新型コロナウイルス流行化における保育課程の見直し及び復旧	新型コロナウイルス流行により年間行事の縮小を余儀なくされてきた。園長の示す方針のもと、新型コロナウイルス流行前に実施されていた行事内容と新型コロナウイルス流行下で行われた行事内容双方のよさを取り入れ、復旧するだけでなく園児が豊かな経験を積み重ねることのできる行事を計画し実践する必要がある。

7 学校関係者評価委員会の評価

外部講師も含めた様々な視点を通して、日々の保育活動に取り組むことは大変好ましいことである。新型コロナウイルスもまだまだ猛威を振るう中、再び年間行事を盛り上げることで、保育内容も充実したものになるのではないかと。園児の成長を一番に考えていくことのできるよう、今後も教育活動に期待したい。